

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人 亀の子

目 次

1. 法人の目的	1
2. 亀の子の理念	1
3. 法人の基本方針	1
4. 事業の概略	2
5. 各事業部門	3
(1) 本部	
I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営	3
II. 経理部門	3
III. 地域福祉との連携	3
IV. 福祉避難拠点	4
V. 職員(人材)の育成	4
VI. 各種規程の新規作成・改定	8
VII. 法人運営会議	8
VIII. 情報公開	9
(2) 障がい者支援部門	
I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】	10
II. 日常生活支援【のほほん】	13
III. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】	16
IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】	19
V. 福祉的就労支援【遊亀館】	22
VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】	25
VII. 住まいの支援【タートルホーム】	29
(3) 児童支援部門	
I. 保育支援【たから保育園】	30
II. 障がい児通所支援	
【かめっ子クラブ】	33
【かめっ子クラブⅡ】	35
(4) メンバーの家族との連携	37
(5) 苦情解決	37
(6) 職員	37
(7) 非常災害対策	38
6. 社会貢献活動	38

1. 法人の目的

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者・児が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

2. 亀の子の理念

- ① 一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場であること。
- ② 自己選択・自己決定・自己責任・自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場であること。
- ③ 「障がい者を世の光とする」メッセンジャーである。生きるメッセージを与えて行く場である。
- ④ 亀の子は、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場であること。
- ⑤ 子どもの人権を尊重しながら、働く父母や地域の多様化する要望に応え、愛される保育園を目指す。

3. 法人の基本方針

(1) 法人の基本方針

- ① 大田圏域の障がい者で、保健福祉の支援を必要としている人に対し、利用者の人間美をひきだし、信頼関係を深め、一人ひとりのライフステージに添った人生の物語が実現できるように支援体制を整えます。
- ② 障がい者福祉の総合的なコミュニティソーシャルワーク(CSW:地域福祉)の拠点となり、『さわやかに 明るく さりげなく 豊かな出会いの場』を目指します。
- ③ 障がい者福祉、高齢者福祉そして児童福祉が一体化することにより、先進的な多機能サービス(地域共生ケア)が提供でき、豊かな地域社会が形成されるよう貢献します。

(2) 利用者援助の基本方針

- ① 利用者一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場とします。
- ② 自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場とします。
- ③ 亀の子セルプは、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場とします。
- ④ 「障害者を世の光とする」メッセンジャーとなります。
- ⑤ 人として、生きるメッセージを与えていく場となります。
- ⑥ 苦情に対しては、誠心誠意を込めて対応を行います。
- ⑦ 個人情報、部外者に漏れないよう大切に扱います。

以上のことに努めました。

4. 事業の概略

(1) 社会福祉事業 第二種

事業所名	事業名	定員	住所
亀の子サポートセンター	・特定相談支援事業 ・大田市委託相談支援事業 ・障がい児相談支援事業		大田市長久町長久口267番地6
のほほん	・地域活動支援センター ・島根県高次脳機能障がい者支援事業		大田市長久町長久口267番地6
亀の子工房	・就労継続支援 B 型	20名	大田市長久町長久口267番地6
遊亀館	・就労継続支援 A 型 ・就労移行支援	14名 6名	大田市長久町長久口267番地6
ふぁみりーわーく	・生活介護	20名	大田市長久町長久口335番地1
タートルホーム	・介護サービス包括型共同生活援助	10名	大田市長久町長久口267番地6
		5名	大田市長久町長久イ453番地10
		4名	大田市長久町長久口268番地18
たから保育園	・認可保育所	50名	大田市長久町長久口268番地2
かめっ子クラブ	・放課後等デイサービス ・児童発達支援	10名	大田市長久町長久口267番地6
かめっ子クラブⅡ	・放課後等デイサービス	15名	大田市長久町長久口268番地2
ジョブ亀の子	・障害者就業・生活支援センター事業 (島根県事業)		大田市長久町長久口267番地6

(2) 公益事業

事業所名	事業名	住所
ジョブ亀の子	・障害者就業・生活支援センター事業 (雇用安定等事業)	大田市長久町長久口267番地6

5. 各事業部門

(1) 本部

I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営

社会福祉法人制度改革について経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を進めるとともに、総務・人事・労務・教育・財務・経営を一体的に進めました。

II. 経理部門

社会福祉法人制度改革における財務規律の強化を図りました。

- ①社会福祉法人新会計基準に則り、公益性を維持し、透明性の高い正確な会計処理に努めました。
- ②予算に基づく適切な会計処理を行いました。
- ③就労支援事業は原価及び経費の見直しをし、コスト削減に努めました。
- ④公認会計士 杉井久氏に財務会計に係る情勢整備状況の点検及び適切な会計処理が行われているかどうか確認、指導を頂きました。
- ⑤財務状況並びに運営状況を明らかにし、法人の今後の中長期計画を立案しました。
- ⑥社会福祉充実残高を算出し、内部留保の明確化をしました。
- ⑦一般課税に向けてわかりやすい会計処理に努めました。
- ⑧経理処理のソフトを活用し業務の効率化を図りました。

III. 地域福祉との連携

施設処遇の福祉ではなく、地域福祉を根ざした活動を行いました。

当法人施設は、経済・福祉団体等、様々な関係機関とも連携をとり、地域住民も参画し（ボランティアの協力）、共に共有、共存できる施設を目指しました。

1) 地域との連携で次の事項を実践しました。

- ① 大田市障がい者自立支援協議会に参画しました。
- ② 社会福祉協議会と連携し諸施策の実行を行いました。
- ③ 地域行事への参加（天領踊り等）
- ④ 施設行事へ地域住民の協力・参加（納涼祭）
- ⑤ 学生ボランティアの受け入れと交流
- ⑥ 市内中学校の体験実習の受け入れ
- ⑦ 機関紙「亀の子」の発行
- ⑧ 福祉体験学習の場の提供（大学生・専門学校生の実習の受け入れ）
- ⑨ 大田商工会議所及び九号線長久商工振興会の活動に参加

2) 施設見学者・視察研修者

日付	来 所 者	人数
6.12	出雲養護学校邇摩分教室 生徒・教諭	2
10.28	障害者支援施設 美野園 職員	6
1.30	新宮市議会 教育民生常任委員会委員	8
2.18	湖陵地区社会福祉協議会 地区社協役員・福祉委員	16
合 計		32

3) 体験等実習

日付	実 習 者	人数
5.21~24	海外での豆腐製造希望者	2
6.3~7	石見養護学校高等部 生徒	1
6.5・12	出雲養護学校邇摩分教室 生徒	1
6.10~21	石見養護学校高等部 生徒	1
6.17~21	石見養護学校高等部 生徒	1
9.25~27	大田市立第一中学校 生徒	2
10.1~21	京都医療福祉専門学校 学生	1
10.10~18	出雲養護学校邇摩分教室 生徒	1
合 計		10

IV. 福祉避難拠点

福祉避難所として、非常食や備品の整備に務めました。また、防災訓練を実施しました。

V. 職員(人材)の育成

1) 施設内研修

- ①メンバーの処遇について・専門的関わりについての学習会を行いました。
- ②法人職員としての接遇についての学習会を行いました。
- ③職員へ人権研修を行いました。
- ④新任職員研修を入社後4ヶ月以内に5回行いました。

研修名	実施月日	対象	参加人数
虐待防止・権利擁護伝達研修	4.7、6.11	障がい福祉 職員	18
新職員等社内研修	6.12・19・ 7.3・10・ 8.22	新任職員 他職員	16
人権研修	7.20	障がい福祉 職員	9

SST 研修	9.30	障がい福祉職員	8
働き方改革研修	2.14	かめっ子クラブ職員他	12

2) 施設外研修

①本部・役員

2講座に 延べ4名の役職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
令和元年度社会福祉法人指導監査説明会・研修会	7.2
全国社会福祉法人経営者協議会「中長期計画策定セミナー」	12.20

②亀の子サポートセンター

11講座に 延べ14名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
島根県相談支援専門員協会研修会	4.6・ 12.4・5
相談支援従事者スキルアップ研修	11.25・26
発達障がい講演会	6.1

③のほほん(高次脳機能障がい支援事業含む)

5講座に 延べ5名の職員が受講しました。

研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
高次脳関係職員研修会	6.27・28
「虐待防止・権利擁護」伝達研修	6.11
令和元年度 ゲートキーパー研修会	2.4

④ふぁみりーわーく

5講座に 延べ6名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
発達障がい講演会	6.1
令和元年度 島根県精神障がい者支援事業所連絡会管理者等研修会	7.6
平令和元年度 ゲートキーパー研修会	2.4

⑤亀の子工房

6講座に 延べ8名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
障がい者の働く場パワーアップフォーラム	7.11・12
作業支援・就労支援に関する研修会	9.28
令和元年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.13~14

⑥遊亀館

5講座に 延べ5名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
障がい者の働く場パワーアップフォーラム	7.11~12
サービス管理責任者更新研修	12.6
令和元年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.13~14

⑦ジョブ亀の子

6講座に 延べ14名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
2019年度障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修	5.21~24
第1回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	9.13
令和元年度障害者就業・生活支援センター 中国・四国ブロック経験交流会議/障害者就業・生活支援センター中国・四国地区ワーカー連絡会 in 香川	11.5~6

⑧タートルホーム

6講座に 延べ9名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
発達障がい講演会	6.1
大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会(虐待防止)	9.13
大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会(高次脳と認知症)	10.30

⑨たから保育園

12講座に 延べ22名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
令和元年度 保育士等キャリアアップ研修【幼児教育】	6.10・11
全国保育士会研究大会	10.24・25
子ども・子育て支援事業経営セミナー	11.22 ～24

⑩かめっ子クラブ

9講座に 延べ9名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
講演会「子どものてんかん」	8.19
令和元年度 福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程【初任者コース】	8.28・29
令和元年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.12・13

⑪かめっ子クラブⅡ

2講座に 延べ2名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
令和元年度 保育士等キャリアアップ研修【乳児保育】	8.7～8
大田市青少年育成・児童虐待防止講演会	11.17

3) 主催研修

①障がい児支援研修会

放課後等デイサービスの職員及び地域の支援者のスキルアップのために北原侑先生（鳥取県立総合療育センター シニアディレクター）を講師に迎え、下記研修を開催いたしました。

研修名	対象者	実施日	参加人数
障がい児支援について	支援者等	7.5	12
実践指導「事例を通して支援者の支援の在り方について」	対象児童の関係者等	11.1	14
障がい児保護者研修会	障がい児保護者	11.2	11

②高次脳機能障がい支援圏域研修会

島根県より委託をうけ、下記研修会を開催いたしました。

研修内容	対象者	実施日	参加人数
障がいのある方への虐待防止について 講師： 阪田 健嗣 氏 (西部島根医療福祉センター 育成部長)	障がい福祉・ 高齢者福祉・ 行政関係者 等	9.13	25
高次脳機能障がいと認知症の方の心理 講師： 高橋 幸男 氏 (エスポアール出雲クリニック 院長)	障がい福祉・ 高齢者福祉・ 行政関係者 等	10.30	48

③ジョブ亀の子主催研修

ジョブ亀の子主催研修は、P.29に「ネットワーク強化・充実事業」として記載しております。

VI. 各種規程の新規作成・改定

各種法改正に基づき、就業規則・経理規程・運営規程の見直しを行い、修正・追加等を行いました。

VII. 法人運営会議

1) 法人運営会議

法人の円滑な運営を図るために、下記の日程で会議を開催しました。

	開催日					
	理事会	6.5	6.28	9.26	12.25	3.23
評議員会	6.28					
監査会	6.5	10.10				

2) 役職会議

構成	役職員(理事長・副理事長・総括施設長・部長・次長)					
目的	施設間の連絡、調整及び法人・施設運営が円滑に推進できるように調整を図る。					
開催	4.25	5.28	7.29	8.27	9.26	10.25
	11.25	12.25	1.27	2.25	3.23	

3) 虐待防止委員会

構成	管理職・虐待防止マネージャー・看護師・利用者代表・家族代表・第三者委員	
目的	利用者児の虐待を未然に防ぐための、施設環境づくりを目指す。	
開催	5.28	

4) 職員会議

構成	各部門の職員						
目的	施設内の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。						
開催	亀の子工房 のほほん タートルホーム	4.23	5.23	6.18	7.22	8.20	9.19
		10.18	11.18	12.16	1.21	2.25	3.18
	ふぁみりーわー く	4.17	5.17	6.14	7.23	8.23	9.20
		10.25	11.22	12.23	1.23	2.26	3.17
	遊亀館 ジョブ亀の子 亀の子サポ ートセンター	4.23	5.17	6.21	7.19	8.23	9.20
		10.18	11.15	12.20	1.17	2.21	3.6
	かめっ子クラブ	4.16	5.16	6.13	7.9	8.9	9.13
		10.23	11.21	12.18	1.24	2.21	3.26
	たから保育園	4.10	5.8	6.12	7.10	8.21	9.11
		10.9	11.13	12.11	1.15	2.10	3.28

VIII. 情報公開

法人の現況報告を WAM NET 及びホームページ上で情報公開を行いました。

(2) 障がい者支援部門

I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】(相談支援事業所)

1) 目的

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与、又は権利の擁護のために必要な支援を行うことにより、障がい者等やその家族における生活を支援し、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る事を目的としています。

2) 方針

大田地域で生活する、全ての障がい者を対象とし、この大田地域の中でごく当たり前に生きていける自信に、さらに繋がるように支援をおこないます。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所時間

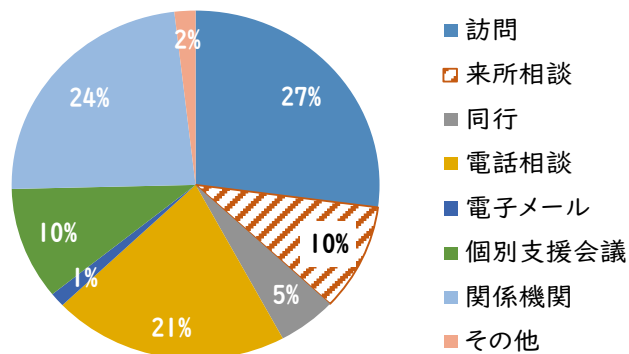
8:30 ~ 17:30 (土・日曜日・祝日は、電話を携帯電話に転送して対応)

17:30 ~ 8:30 (電話を携帯電話に転送して対応)

4) 生活相談事業

(単位:件 又は 人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
訪問	50	72	66	62	58	46	53	56	45	54	42	69	673	56.1
来所相談	9	24	20	30	26	26	21	14	19	21	16	20	246	20.5
同行	11	18	9	12	5	2	13	12	14	11	12	10	129	10.8
電話相談	10	75	56	69	43	40	50	36	17	32	26	62	516	43.0
電子メール	0	3	0	3	5	3	3	2	2	6	2	4	33	2.8
個別支援 会議	23	18	37	23	11	13	21	25	29	19	17	23	259	21.6
関係機関	19	27	57	42	53	50	59	62	35	68	46	67	585	48.8
その他	2	6	4	4	5	7	2	2	0	4	6	4	46	3.8
計	124	243	249	245	206	187	222	209	161	215	167	259	2,487	207
実人数	62	76	82	86	75	84	77	88	81	78	70	112	166	80.9



5) 認定調査

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
件数	3	2	3	6	4	5	6	3	2	1	7	4	46	3.8

6) 相談実績

①実績内訳

(単位:延べ件数)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福祉サービスの利用等に関する支援	82	122	115	117	119	112	121	125	90	120	92	148	1,363
障がいや病状の理解に関する支援	1	0	10	4	1	15	9	4	4	5	5	4	62
健康・医療に関する支援	20	33	33	50	25	26	67	55	22	41	34	50	456
不安の解消・情緒安定に関する支援	7	31	15	13	31	24	27	17	8	38	18	23	252
保育・教育に関する支援	1	4	5	5	4	7	8	9	14	6	12	9	84
家族関係・人間関係に関する支援	12	23	15	17	22	32	51	28	22	45	32	20	319
家計・経済に関する支援	4	20	29	25	13	22	18	12	9	11	11	19	193
生活技術に関する支援	4	29	8	8	10	7	10	12	3	10	4	12	117
就労に関する支援	3	9	7	20	26	9	7	7	17	8	6	13	132
社会参加・余暇活動に関する支援	0	5	1	1	3	4	0	2	0	1	0	0	17
権利擁護に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
住居に関する支援	2	8	2	2	1	0	3	5	2	7	2	0	34
地域生活移行・自立生活に関する支援	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
障害程度区分認定に関する支援	0	1	0	0	1	1	1	2	0	1	0	3	10
その他	6	10	41	35	12	17	13	5	6	13	5	13	176
合計	142	295	281	297	268	276	335	284	198	306	221	314	3,217

②計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	18	16	8	9	5	2	16	17	18	9	11	9	138
継続利用支援	37	44	38	38	29	28	26	24	26	33	23	37	383

③障がい児計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	4	6	2	11	3	5	2	6	4	5	4	1	53
継続利用支援	7	3	6	9	6	12	11	5	9	9	11	14	102

④支援対象契約者数

	年度初め	新規利用者	利用終了者	年度末
障がい者	116	5	6	115
障がい児	38	10	1	47
合計	154	15	7	162

7) 会議等参加状況

①大田市・相談支援事業所連絡会

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
出席者数	3	3	3	3	3	3		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
出席者数	3	3	3	3	3	3	36	

②その他

連絡会名等	参加回数	延べ参加者数
大田市自立支援協議会各部会	8	8
相談事業所と市町村との連絡会議	1	2
相談支援コーディネーター連絡会議	1	1
障害者就業・生活支援センター連絡会議	2	2
高次脳機能障害者支援ネットワーク会議	3	4
ゆきみーる運営等検討会議	3	3
地域活動支援センター連絡会	2	4
精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議	1	1
ウィンドブロック連絡会議	1	1

II. 日常生活支援【のほほん】(地域活動支援センター)

1) 目的

障がい者に創作活動又は生産活動の機会を提供し、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の自立及び社会参加の促進を図ることを目的としています。

2) 方針

大田市で生活する全ての障がい者を対象として、障がい者がごく当たり前に生きていける自信に繋がるように支援をおこないます。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所時間

9:00 ~ 16:00

4) 地域交流活動推進事業

①開館日数及び利用者数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	26	24	28	28	28	27	26	26	27	25	25	28	318
利用者数	73	71	69	69	65	69	62	68	69	72	61	73	114
延べ利用者	421	427	466	471	385	382	390	417	422	408	375	476	5,040

1日あたり平均利用者数:15.8人

②月例行事

(単位:人)

月例行事	開催数	延べ	平均
お茶会	48	950	19.8
カラオケ	30	253	8.4
ミュージック・ケア	25	225	9.0
脳トレ	23	161	7.0
料理教室・クッキング	16	110	6.9
ゲーム	16	109	6.8
スポレク	13	81	6.2
創作活動	13	71	5.5
エアロビクス	12	162	13.5
のほほんシアター	12	103	8.6
Myカレンダー作り	12	93	7.8
紙芝居	10	83	8.3

月例行事	開催数	延べ	平均
川柳を読もう	9	56	6.2
ショッピング	9	55	6.1
らくらく体操	9	53	5.9
SST	6	49	8.2
エコ活動	6	31	5.2
むかしの遊び	3	20	6.7
合 計	272	2,665	9.8

③各月行事

月	内容	参加人数
4月	お花見(亀の子工房と共催事業)	1
	期日前投票	5
5月	水害避難訓練	6
	つつじを見に行こう	8
7月	期日前投票	2
8月	Let`s play English	6
9月	消防訓練	3
1月	ミーティング(新年の抱負)	7
	初詣	12
	餅つき	4
	五十猛グロ	4
2月	節分会	5
3月	消防訓練	3
合計	13件	66

5) 高次脳機能障害者支援拠点事業

①支援対象者

(令和2年3月31日現在)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	0	2	1	8	9	20
女性	0	0	0	4	2	1	7
計	0	0	2	5	10	10	27

②新規相談者数

実人員	医療機関	障がい者支援事業所	介護保険事業所	保健所	市町村	その他	なし
5	3	1	0	0	0	1	0

③相談延べ件数

	電話	来所	訪問	メール 書簡	その他	計
本人	17	131	28	40	15	231
家族	9	3	1	6	0	19
関係機関	62	10	11	0	1	84
計	88	144	40	46	16	334

④大田圏域支援ネットワーク会議

	開催日	会場	参加者数
第1回	R1.5.24	県央保健所 集団指導室	20名
第2回	R1.9.20	邑南町役場 大会議室	15名
第3回	R2.1.24	県央保健所 集団指導室	20名

⑤圏域研修会開催

島根県の委託を受け、2回実施しました。詳細は、P.8にて掲載しております。

⑥会議参加状況

会議名	参加回数
高次脳機能障がい者デイケア連絡会	1
出雲パワーネット会議	6
中部地域コーディネーター会議	2
浜田圏域高次脳機能障がい者支援ネットワーク会議	2

⑦高次脳家族の集い実績

開催日	内容	参加者				計
		当事者	家族	ボラン ティア	支援者	
6.21	①今年度の計画話合い ②近況報告会	5	2	0	2	9
10.25	①厚生センター見学 ②太助珈琲店訪問	6	4	0	2	12
12.13	①フラワーアレンジメント ②生活習慣病1	6	1	2	2	11
3.13	①料理教室(たこ焼き) ②生活習慣病2	コロナウイルス対策の為中止。				

⑧高次脳機能障がい者支援コーディネーター

加納 靖浩

Ⅲ. 介護支援【ふぁみりーわーく】（生活介護事業）

1) 支援方針

- ①自立に向けて、SST等を活用して個々の生活能力の向上に努めます。
 - ②高齢の利用者へは傾聴に努め、体力維持や認知症予防の支援をします。
 - ③軽作業等を通して、コミュニケーション力を養い達成感を持ち社会の一員としての役割が持てるように支援をします。
 - ④レクリエーション活動を通じて、楽しみや充実感を持てるように支援をします。
 - ⑤地域で生き生きと暮らせるよう、地域の行事や活動に参加し地域貢献に繋がります。
 - ⑥一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を立案し、夢を語れるよう支援をします。
- 以上の支援方針に従って支援をおこないました。

2) 支援時間

9:00 ~ 16:00（原則的に11:45~13:00を昼食時間とする。）

3) 事業内容及び成果

- 身体機能の低下を予防するための健康体操や体力作りの実施
- 認知症予防の為、脳トレーニングの実施
- 農作業・袋つめ・シール貼り等の活動の実施
- 毎日のバイタルチェック、医師・看護師等による健康管理の実施
- 温泉への入浴支援の実施
- 料理教室・買い物の訓練を実施
- レク活動（ウォーキング、ドラムサークル、おしゃべりカフェ、「スマイル」さんとの交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出等）
- SST教室の実施
- 福祉サービスの主体的申請の実施
- 地域の行事や活動に参加し、地域貢献にも努めた
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

③成果

- 軽作業やレクリエーションを通じて、達成感を持ち主体的に活動し、楽しみや生きがいに繋がりました。
- ウォーキングを毎日する事で、体力や筋力の向上と、体重の減少に繋がりました。
- 外出支援で、選挙の期日前投票に出かけ、社会参加することができました。
- 久手小学4年生に「ボッチャ」を教える機会を持ち、主体的な関わりができました。
- 嘱託医の健康相談や毎日の健康管理により、健康面での意識の向上が図られ、必要な方には専門医の受診が速やかに行うことができました。
- SST教室でのロールプレイを通して、コミュニケーション力や日常生活の技能の向上が見られました。

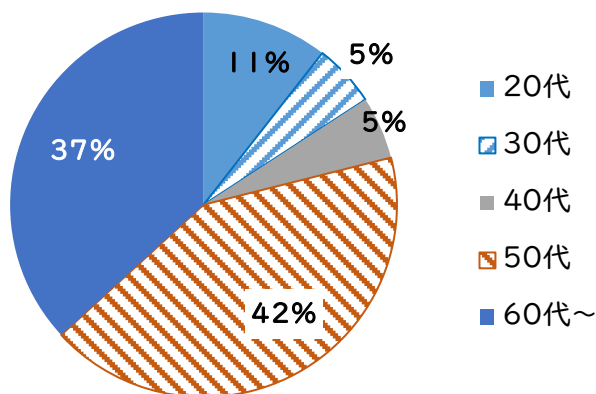
- 昼食の提供により、バランスの良い食事摂取ができ、体調を整えることができました。
- 送迎支援により、意欲の低下した方や足腰の弱い方、遠方の方の利用が可能となり、生活リズムや体調を整えることができ、継続して地域生活を送ることができました。
- 福祉制度について、勉強する機会を持つことで、自分のこととして意識し主体的に更新申請をする意識の向上が見られました。
- 大田市駅における豪華寝台特急「瑞風」の歓迎活動を大田市民の方と一緒に、行い地域貢献に努めることができました。

④研修

- 「亀の子工房」との合同研修会を実施しました。(詳細は19頁に記載)

⑤利用者年齢別構成表(令和2年3月31日現在) (単位:人)

	~29	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
男性	1	0	0	7	2	10	55歳 5か月
女性	1	1	1	1	5	9	54歳10か月
計	2	1	1	8	7	19	55歳 2か月



⑥利用年数(令和2年3月31日現在) (単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	4	1	0	5	10	4年6か月
女性	1	3	0	5	9	5年7か月
合計	5	4	0	10	19	5年0か月

⑦利用者の主な障がい種別

障がい種別	精神	知的	身体	その他
人数	13名	3名	4名	0名
割合	65.0%	15.0%	20.0%	0.0%

⑧利用者手帳所持者数(令和2年3月31日現在)

(単位:人)

	精神 1級	精神 2級	精神 3級	療育 A	療育 B	身体 2級	なし	合計
男性	0	6	0	0	0	3	1	10
女性	3	3	0	0	3	0	0	9
計	3	9	0	0	3	3	1	19

⑨平均利用日数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	22	21	23	22	20	23	21	23	20	19	22	21.5
登録者数	17	17	18	18	18	18	18	19	19	20	20	20	18.5
延べ 利用者数	340	346	353	397	371	346	396	371	411	360	324	369	365.3
1日当り 利用者数	15.4	15.7	16.8	17.2	16.8	17.3	17.2	17.6	17.8	18.0	17.0	16.7	16.9

⑩利用者推移

○利用者推移表

(単位:人)

年度初	新規通所	退所	年度末
17	3	1	19

○退所者の行先

・自立訓練(機能訓練) 1名

⑪行事

○「亀の子工房」との合同で実施しました。(詳細は21頁に記載)

単独で、10月1日支援事業所利用者交流会に参加 9名

IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】(就労継続支援B型事業)

1) 支援方針

- ①自立に向けて、個々の能力に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、能力の開発並びに意識の向上に努め、自立を促します。
- ②障がい重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援します。
- ③一人ひとりに合った個別支援計画を立案し、それに従った支援を行います。
以上の支援方針に従って支援をおこないました。

2) 作業時間

9:00 ~ 16:00 (原則的に12:00~13:00を昼食時間とする。)

3) 事業実施内容及び成果

①給食工房

- ・学校給食センター・地元農家と連携・調整し、野菜の加工にも取り組んで地産地消に貢献しました。
- ・既存商品の生産量を増やし、高齢者施設への納品や個人宅への訪問販売を行いました。

②豆腐工房

- ・地元スーパーへの納品、企業や個人宅への訪問販売を通して、地元との繋がりを大切に継続して販売を行いました。
- ・学校給食センターと連携して地産地消の推進を行い、豆腐だけでなく豆乳や水煮など大豆製品を幅広く使用してもらう事で地元食材のアピールをすることができました。

4) 研修

- ①「ふぁみりーわーく」との合同研修会を下記のとおり実施しました。

日付	内容	亀の子工房	ふぁみりーわーく
4.20	自己肯定感について	19	14
5.18	クリーン活動	13	10
6.15	モラルについて	18	15
7.20	人権学習(ふれあい館職員)	16	14
8.17	交通安全ルールについて	15	15
2.15	人権学習(人権擁護委員)	18	14

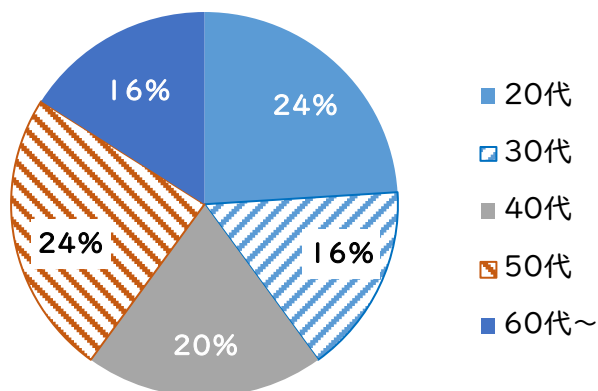
②研修旅行

実施日	場所	内容	亀の子工房	ふぁみりーわーく
11.30	広島	日帰り研修旅行	17	10

5) 利用者年齢別構成表(令和2年3月31日現在)

(単位:人)

	~29	30代	40代	50代	60~	計	平均年齢
男性	5	2	1	4	2	14	44歳2か月
女性	1	2	4	2	2	11	46歳3か月
計	6	4	5	6	4	25	45歳1か月



6) 利用者の主な障がい種別(令和2年3月31日現在)

障がい種別	精神	知的	身体	高次脳	発達
人数	11名	10名	1名	2名	1名
割合	44%	40%	4%	8%	4%

7) 利用年数(令和2年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	4	2	1	7	14	5年5か月
女性	1	3	3	4	11	4年8か月
計	5	5	4	11	25	5年1か月

8) 利用者手帳所持者数(令和2年3月31日現在)

(単位:人)

	精神1級	精神2級	精神3級	療育A	療育B	身体	手帳なし	合計
男性	0	5	1	0	6	1	1	14
女性	0	6	0	0	4	1	0	11
計	0	11	1	0	10	2	0	25

9) 平均利用日数【定員20名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	22	22	21	23	22	20	23	21	23	20	19	22	21.5
登録者数	25	25	24	25	25	25	26	26	26	27	26	25	25.6
延べ利用者数	458	431	389	439	412	385	473	417	435	385	379	433	419.7
1日当り利用者数	20.8	19.6	18.5	19.1	18.7	19.3	20.6	19.9	18.9	19.3	19.9	19.7	19.5

10) 利用者推移

(単位:人)

年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
25	4	4	25

注) 退所者の行先は、入院(1名)・生活介護事業(2名)・死亡(1名)

11) 利用者の平均工賃

時給 255円(前年度253円) 月額平均 13,403円

12) 行事

月日	実施内容
4.4	花見&グランドゴルフ大会
6.3	ボウリング大会
8.16	納涼祭
9.6	大田市障がい者スポーツ大会
9.10	消防訓練
11.30	日帰り研修旅行(広島)
12.6	「障がい者の日」啓発事業ふれあいフェスティバル
12.21	忘年会
1.7	もちつき大会
3.10	消防訓練

V. 福祉的就労支援【遊亀館】(就労継続支援 A 型事業・就労移行支援事業)

1) 支援方針

- ①障がい者が雇用や職業訓練及び職場実習の機会を通じ、就労することの喜びや厳しさを得るように支援を行い、社会人としての必要な知識及び能力の向上のための訓練その他の便宜を適切かつ効果的に支援します。
- ②利用者(顧客)へは、常に質の高いサービスを提供するとともに顧客満足の追及を怠らずサービスの向上に努めます。

以上の支援方針に従って支援をおこないました。

2) 利用時間

9:00 ~ 17:30

3) 利用者人数と賃金(R2年3月末現在)

- ①20名(就労継続支援A型14名・就労移行支援6名)
- ②時給790円 就労継続支援A型従業員月額平均賃金 72,823円

4) 活動の報告

- ①就労アセスメントを行いました。
- ②個別支援計画に基づいた就労の提供・支援を行いました。
- ③生活支援・健康管理・就労支援を行いました。
- ④年間売上目標達成に向けて、企画・営業・広報活動を行いました。
- ⑤職場実習の受け入れ・従業員の研修会を行いました。
- ⑥地域行事への参加、及び法人内の行事・研修に参加いたしました。
- ⑦第3土曜日の午前中に研修会を実施しました。

部門別

事業	内容
就労継続支援A型	【配食サービス】 一般、高齢者に対応した配食サービスを実施し、出雲養護学校邇摩分教室への給食を提供しました。また、家族への安否確認のメールサービスを実施しました。 【委託業務】 株式会社魚の屋の業務委託として最中スープの製造をしました。大田市の業務委託として長久公園の草刈りを年4回行いました。 【施設外就労】 法人の児童及び障がい児施設内において就労支援を行いました。また、農福連携事業としてぶどう園にて農作業を行いました。

事業	内容
就労移行支援	月間の予定表を作成し、それに沿って就労に必要な知識・技能・体力を身に着けるための訓練を行いました。

5) 利用者表(令和2年3月31日現在) (単位:人)

部門	男性	女性	計
就労継続支援A型	9	5	14
就労移行支援	3	3	6
計	12	8	20

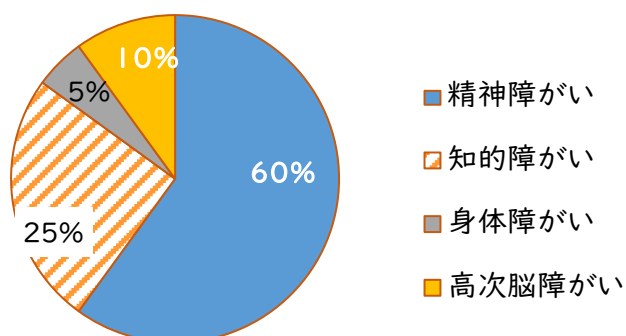
6) 部門別加入保険状況表(令和2年3月31日現在) (単位:人)

就労継続支援A型	加入保険		計
	雇用保険	社会保険	
配食サービス	8	0	8
施設外就労	6	1	6
合計	14	1	14

※施設外就労の従業員1名が社会保険・雇用保険とも加入のため重複

7) 利用者の主な障がい種別(令和2年3月31日現在)

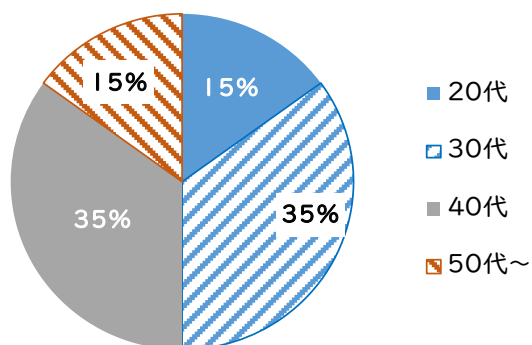
障がい種別	精神	知的	身体	高次脳
就労継続支援A型	7名	5名	0名	2名
就労移行支援	5名	0名	1名	0名
合計人数	12名	5名	1名	2名
割合	60%	25%	5%	10%



8) 利用者年齢別構成表 (令和2年3月31日現在)

(単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代~	計
男性	0	2	4	3	3	12
女性	0	1	3	4	0	8
合計	0	3	7	7	3	20



9) 利用者手帳所持者数 (令和2年3月31日現在)

(単位:人)

	1級	2級	3級	療育	身体	なし	合計
男性	0	4	4	2	1	1	12
女性	0	4	1	3	0	0	8
合計	0	8	5	5	1	1	20

10) 職場実習件数 20件

11) 職場実習受け入れ件数 0件

12) 利用者支援

個別支援計画に基づき、自己決定を尊重しながら働くことの厳しさや意識をもってもらえるよう就労支援を致しました。生活支援については、家族や相談支援事業所等との連携を行いました。また就労に際し医療が必要な場合等は同行受診や家庭訪問も行いました。一般就労支援においては、就業・生活支援センター等との連携も実施いたしました。

13) 利用者の健康管理

健康増進のための健康講座を実施いたしました。

14) 助成事業

赤い羽根共同募金会からの配分を受けて、高齢者向けのお弁当の配送車両として、「スズキ エブリィ JOIN」1台を配備いたしました。

VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】(障がい者就業・生活支援センター)

1) 目的

就職や職場適応などの就業面の支援及び生活習慣の形成や日常生活の管理などの就業の継続に伴う生活支援が必要な障がい者に対して、雇用、福祉、保健、教育等の関係機関と連携を図りながら、身近な地域において必要な指導、助言その他支援を行うことにより、職業生活における自立を図ることを目的とします。

2) 事業の内容

- ①障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行いました。
- ②事業主に対して障がい者の就職後の雇用管理に係る助言等を行いました。
- ③障がい者に対して障害者職業センターにより行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについて斡旋を行いました。
- ④障がい者の雇用の場、職場実習の場を広げる活動を行いました。
- ⑤障がい者の就職後の職場定着支援を実施しました。
- ⑥県、市町村、公共職業安定所、障害者職業センター等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの関係機関との連携を図りました。
- ⑦職場定着のための在職者の交流活動「パキラ」を年4回(7月、9月、10月、2月)開催しました。
- ⑧就職困難性が高い支援対象者に対し、多様で効果的な支援により就労促進を図るためピアサポート活動を年4回(11月、12月、1月は2回)開催しました。
- ⑨中小企業における障害者支援担当者に対する支援を年3回(8月、10月、11月)開催しました。
- ⑩大田市障がい者自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑪邑南町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑫美郷町・川本町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑬島根県より障害者就業・生活支援センター事業(生活支援等事業)を受託し実施しました。
- ⑭島根県より障がい者雇用促進支援員配置業務を受託し、事業所開拓を行いました。
- ⑮島根県より障がい者チャレンジ事業を受託し、職場実習の拡大を行いました。
- ⑯島根県より障がい者就労支援ネットワーク強化・充実事業を受託し実施しました。
- ⑰島根県より障がい者の仕事と生活の両立支援事業を受託し実施しました。
- ⑱島根県立邇摩高校における特別支援教育が必要な生徒に対する就業支援の指導及び助言を行いました。

3) 支援対象障がい者の状況

①登録状況

(単位:人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
在職者	6	85	65	3	159
求職者	5	17	41	2	65
その他	0	0	2	0	2
合計	11	102	108	5	226

4) 障がい者に対する支援の実施状況

①支援対象障がい者に対する相談・支援件数(手段別)

(単位:件)

ジョブ亀の子への来所	707
電話・メール	1,508
職場訪問	1,466
家庭・施設への訪問	146
その他	588
合計	4,415

②支援対象障がい者に対する相談・支援件数(内容別)

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
就職に向けた相談や支援	62	280	694	9	1,045
職場定着に向けた相談・支援	89	915	788	45	1,837
日常生活・社会生活に関する相談・支援	26	116	66	8	216
就業と生活の両方にわたる相談・支援	78	567	653	19	1,317
合計	255	1,878	2,201	81	4,415

③支援対象障がい者の就職件数

(単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
一般 (30時間以上)	1	9	6	0	16
短時間(20時間以上 30時間未満)	0	7	4	0	11
短時間 (20時間未満)	0	0	1	0	1
合計	1	16	11	0	28

④支援対象障がい者の実習件数 (単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
3日以上の実習	4	20	42	0	66

5) 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

①相談・支援を行った事業所数……159 事業所

②相談・支援件数(手段別) (単位:件)

ジョブ亀の子への来所	31
電話・メール	451
企業訪問	1,434
その他	34
合計	1,950

6) 障がい者就業・生活支援センター事業連絡会議

第1回連絡会議開催…令和元年5月29日(水) 於:あすてらす

参加:33機関 38名

第2回連絡会議開催…令和2年2月14日(金) 於:あすてらす

参加:36機関 37名

7) 職場定着促進のための在職者の交流活動「パキラ」

	開催日	内容	参加者数
第1回	7月20日(土)	大田圏域・浜田圏域の在職者交流 「交通安全・携帯電話」についての勉強会	17名
第2回	9月8日(日)	「働き方・休み方」についての勉強会	15名
第3回	10月5日(土)	アイスブレイク「相手にどういう印象で見られているのかを学ぶ」勉強会	17名
第4回	2月1日(土)	「租税教室」税の勉強会	18名

8) ピアサポート活動

	開催日	内容	参加者数
第1回	11月26日(火)	邑南町雇用促進連絡会	26名
第2回	12月16日(月)	卒業生から学ぶ会	在校生 27名
第3回	1月18日(土)	A型から一般就労された方との交流会	18名
第4回	1月22日(水)	障がい者一般就労体験発表会	93名

9) 中小企業における障害者支援担当者に対する支援

	開催日	内容	参加者数
第1回	8月7日(水)	障がい者雇用企業見学会	12名
第2回	10月8日(火)	障がい者雇用促進フォーラム	58名
第3回	11月26日(火)	邑南町雇用促進連絡会	10企業

10) ネットワーク強化・充実事業

①「障がい者雇用企業見学会」

日 時：令和元年8月7日(水)

場 所：株式会社サンパ工業、大田市社会福祉事業団ビラあさやま

参加者：9事業所 12名

②「障がい者雇用事業所視察研修(岡山県)」

日 時：令和元年11月28(木)

場 所：パナソニック吉備株式会社

参加者：13名

③「障がい者一般就労体験発表会」

日 時：令和2年1月22日(水)

場 所：大田市民センター

参加者：93名

11) 障がい者の仕事と生活の両立支援事業

	開催日	内容	参加者数
第1回	6月2日(日)	そば打ち体験	26名
第2回	7月20日(土)	室内レクリエーション	17名
第3回	9月8日(日)	ボッチャ交流会	15名
第4回	11月16日(土)	日帰りバス旅行	17名
第5回	12月14日(土)	忘年会	20名
第6回	2月1日(土)	ハーバリウム体験	18名

Ⅶ. 住まいの支援【タートルホーム】（介護サービス包括型共同生活援助事業）

1) 基本方針

- ① サービス利用計画書に従い、利用者の自己自立の促進を促します。
- ② 将来は一般アパートに入居できるよう、生活支援をします。

以上の基本方針に従って支援をおこないました。

2) 共同住居定員

住居名	タートルホーム	コーポ亀の子Ⅱ	コーポ亀の子Ⅲ
定員	10名	5名	4名

3) 入居状況推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
19名	19名	1名	1名	19名

4) 入居者構成表（令和2年3月31日現在）

（単位：人）

	～29	30代	40代	50代	60代	80代	計	平均年齢
男性	2	1	1	3	2	1	10	50歳 7か月
女性	0	0	3	0	6	0	9	57歳 0か月
合計	2	1	4	3	8	1	19	53歳 8か月

5) 入居年数（令和2年3月31日現在）

（単位：人）

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	0	4	1	5	10	6年 2か月
女性	1	2	0	6	9	6年 5か月
合計	1	6	1	11	19	6年 3か月

6) 利用者の主な障がい種別

（令和2年3月31日現在）

障がい種別	精神	知的	身体	高次脳
人数	13名	6名	0名	0名
割合	72.2%	27.8%	0%	0%

7) 福祉サービス等利用先

（単位：人）

一般就労	遊亀館	亀の子工房	ふぁみりーわーく	デイケア	合計
2	3	6	8	0	19

8) その他

- 服薬確認や家族・病院との連携に務めました。
- 毎月全員でミーティングを実施しました。
- 毎月入浴支援や料理教室を実施しました。
- 土日も職員が常勤し、住人の困り事などその都度対応に努めました。

(3) 児童支援部門

I. 保育支援【たから保育園】(認可保育所)

1) 保育方針

- ①子どもの信頼関係を大切に、一人ひとりが安心して自分を出して生活できるような保育をします。
- ②縦割りの中で子どもたち同士のつながりや、思いやりの気持ちが持てるようにします。
- ③家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごせるようにします。
- ④地域の中で保育を大切に、様々な人との交流の場を広げます。

以上の保育方針に従って支援をおこないました。

2) 保育目標

- 心身ともに健康で心豊かな子ども
- 協調性・自主性のある明るい子ども
- よく見・よく聞き・よく考え・行動できる子ども

3) 保育内容

- ①保育時間 月～金曜日 7:30～18:30
土曜日(午後は希望保育) 7:30～18:30
- ②延長保育 月～土曜日(有料) 19:30まで
- ③一時保育 月～金曜日(有料) 8:30～16:30

4) 職員構成

(単位:人)

園長	副園長	主任	保育職員		栄養士	調理員	看護師	事務	計
			常勤	非常勤					
1	1	1	7	9	1	3	1	1	24

顧問医:やまうち内科 山内院長

顧問歯科医:中村歯科クリニック 中村院長

5) 保育人数

①通常保育(令和2年3月)

(単位:人)

0歳児 びしゃもん	1歳児 ふくろく	2歳児 べんてん	3歳児 ほてい	4歳児 えびす	5歳児 だいこく	合計	保育 定員
6	10	10	10	13	9	58	50

②障がい児保育事業

・令和元年度…該当者なし

③延長保育事業

・令和元年度… 176名(延人数)

④一時保育事業

・令和元年度… 6名(延人数)

⑤病児保育【体調不良児対応型】

・令和元年度… 5名(延人数)

6) 保育園行事

行事	実施日	場所	参加者
入園・進級式	4月4日	たから保育園	入園児52名・保護者・来賓
礼拝	8回実施	瑞応寺	1~5歳児
誕生会	毎月実施	たから保育園	全園児
お茶のおけいこ	8回実施	たから保育園	5歳児
英語教室	24回実施	たから保育園	全園児
お弁当の日 (散歩遠足)	7回実施	保育園近辺	全園児
花まつり	4月 23日	たから保育園	全園児・保護者参加
親子遠足	5月24日	三瓶自然館サヒメル	園児名 家族他
交通安全教室	5月20日	たから保育園	園児名 警察官2名
七夕・夏祭り会	7月 6日	たから保育園	全園児・保護者他多数
祖父母参観	9月 6日	たから保育園	園児名・祖父母 28 名
運動会	9月21日	雨天:総合体育館	園児 56 名 保護者他多数
保育参加	6/18.21.2 5.26.27 10.21.23. 11.5.7.8.1 1.12.13.1 5.18.21	たから保育園	園児 保護者 53 名(延人数)
餅つき会	12月 7日	たから保育園	園児 58 名・食育ボラ 3 名
クリスマス会	12月20日	たから保育園	園児 51 名
神楽面づくり	1月 24 日	たから保育園	全園児・保護者
節分会	2月 3日	たから保育園	園児 57 名
お楽しみ会	2月 8日	たから保育園	園児 57 名 保護者他多数
ひな祭り会	3月 3日	たから保育園	園児 52 名
お別れ遠足	3月13日	保育園近辺	全園児
お別れ会	3月17日	たから保育園	園児 58 名
卒園式・親子茶会	3月28日	たから保育園	卒園児9名・保護者 在園児なし・
身体測定	毎月実施	たから保育園	全園児
歯科検診	6月 6日	たから保育園	全園児

行事	実施日	場所	参加者
内科検診	9月3日	たから保育園	全園児
防災・消火避難訓練	毎月実施	たから保育園	
クッキング	10回実施 (7~9月を除く)	たから保育園	3~5歳児

○礼拝は、月に1回瑞応寺にバスで行けるので子どもたちも楽しみにしていました。今年も1歳児も行くことが出来、喜んでいました。

○各行事も保護者参加がたくさんあり、協力してもらえたことによりスムーズに進行できました。

○お茶のおけいこは回数的にも丁度良かったです。3月のお茶のおけいこは前半に1回行うことで親子茶会の打ち合わせもできて、2回実施できよかったです。新型コロナウイルス感染予防のため、2部屋使用してひと家族ずつのおもてなしとなりましたが、ゆったりとお点前ができました。

○七夕夏祭りを、保育園主体で行うことで、保護者の方に楽しんでいただけたと思います。

7) 地域活動事業

① 世代間交流

開催日	内容
9月6日	祖父母参観日

② 異年齢児交流

開催日	内容
4月12日	新入園児歓迎会
5月24日	親子遠足
7月6日	七夕・夏祭り会
9月21日	運動会
12月20日	クリスマス会
3月3日	ひな祭り
3月13日	お別れ遠足
3月17日	お別れ会

③ 地域交流

開催日	内容
5月23日	花まつり
12月6日	餅つき会
1月24日	神楽面づくり

II. 障がい児通所支援

【かめっ子クラブ】(放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業)

1) 目的

未就学期や学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

①未就学の障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

②学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所日

①放課後等デイサービス事業：月曜日～土曜日

②児童発達支援事業：月曜日～金曜日

但し、両事業とも祝祭日及び年末年始(12/31～1/3)を除く

4) 開所時間

①児童発達支援事業 9:00～13:30

②放課後等デイサービス事業

平日 14:00～18:00

学校休業日 8:30～16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援を実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域：大田市全域

送迎可能地域：大田市全域

6) 利用定員 10名

(児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の合算)

7) 行事

開催月	内容
4月	お花見
5月	消防署見学・端午の節句・水害避難訓練
6月	虫歯予防デイ・親子遠足
7月	七夕会・陶芸教室・プール遊び・海水浴

開催月	内容
8月	プール遊び・レッツ イングリッシュ・紙すき
9月	火災総合訓練
10月	亀の子祭参加・マジックショー
12月	クリスマス会・凧作り・大掃除
1月	書初め・凧あげ
2月	節分
3月	ひな祭り・火災総合訓練・お別れ会
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・誕生会

8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。
- ③島根県自閉症協会大田地区部会、めだか教室及び、ぴよんぴよん教室に職員が参加しました。

9) 利用児童数

①放課後等デイサービス事業

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	24	25	26	26	23	25	24	25	23	23	25	24.5
利用児童数	14	13	14	14	14	13	14	12	13	12	11	12	13
延べ利用児童数	230	202	234	251	249	209	219	197	221	183	188	210	216
1日当り利用児童数	9.2	8.4	9.4	9.7	9.6	9.1	8.8	8.2	8.8	8.0	8.2	8.4	8.8

②児童発達支援事業

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	6	10	13	17	18	10	13	13	9	12	13	12	12.2
利用児童数	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
延べ利用児童数	6	10	13	20	25	10	13	13	9	12	13	12	13
1日当り利用児童数	1.0	1.0	1.0	1.2	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1

【かめっ子クラブⅡ】(放課後等デイサービス事業)

1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

以上の方針に従って支援をおこないました。

3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/31～1/3)を除く

4) 開所時間

平日 14:00～18:00

学校休業日 8:30～16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域：大田市全域

送迎可能地域：大田市全域

6) 利用定員 15名

7) 行事

開催月	内容
4月	誕生会
5月	水害避難訓練・誕生会
6月	むし歯予防デー・親子遠足・誕生会
7月	七夕会・陶芸教室・プール遊び・海水浴・誕生会・クッキング・地域の高校生との交流
8月	レッツ イングリッシュ・プール遊び・クッキング・誕生会
9月	火災総合訓練・クッキング・誕生会
10月	亀の子祭参加・ハロウィン・マジックショー・誕生会
11月	クッキング・誕生会
12月	クリスマス会・大掃除・クッキング・凧作り・誕生会
1月	初詣・書初め・凧上げ・誕生会・クッキング・スポーツ大会・もちつき会参加

開催月	内容
2月	節分
3月	ひな祭り・火災総合訓練・お楽しみ会
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館

8) 支援活動内容

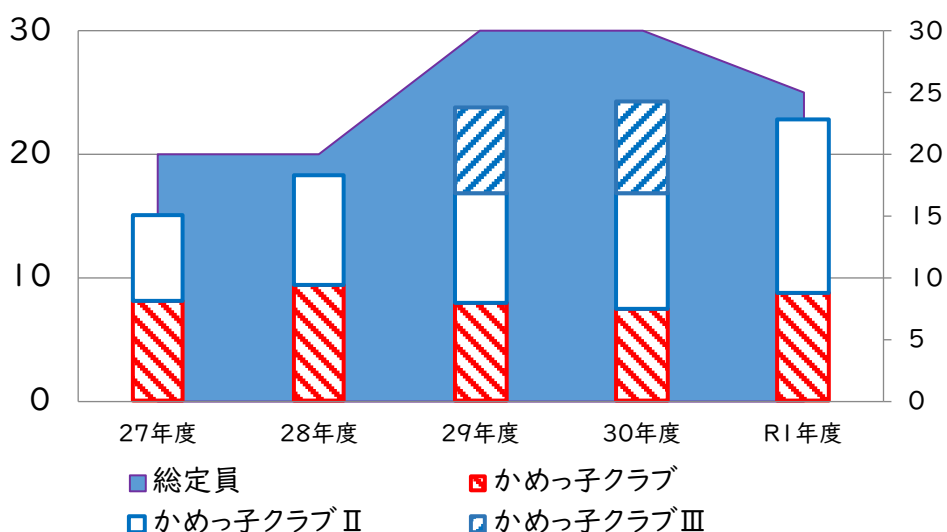
- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室など関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

9) 平均利用数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	24	25	26	26	23	25	24	25	23	23	25	24.5
利用児童数	24	22	23	25	25	24	24	24	23	25	23	25	24
延べ利用児数	377	308	331	372	369	329	336	333	353	323	308	390	344
1日当り利用児数	15.1	12.8	13.2	14.3	14.2	14.3	13.4	13.9	14.1	14.0	13.4	15.6	14.0

総定員と1日平均利用者数



(4) メンバーの家族との連携

適切な支援と健全な育成を図るためには、障がい者が住み慣れた地域での生活や社会的自立を促進するために、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持しなければなりません。

このため、各種行事の参加要請、研修会の開催等を行い理解と協力を求めております。また、機関紙等を利用して連携に努めました。

大田地域家族会「親和会」の事務局補助をのほほん職員が担当し、家族の支援を行い、共に障がい者福祉の理解を求めました。

(5) 苦情解決

令和元年度は、利用者からの苦情申し立てがございませんでした。

(6) 職員

施設の主体者はメンバーです。常にメンバーの人権を尊重し豊かな感性を持ち、相手の立場に立った、よき理解者として心がけました。組織の一員として、また専門職としての自覚の下に、信頼を得るよう努めました。かつ、職務分掌に基づき速やかに職務を遂行するよう務めました。

一方、施設の効率的運営に留意、協力すると共に常に問題意識をもち、研究心を忘れないようにしました。そして、職員の資質向上の為に勉強会を行う他、研修会へも積極的に参加いたしました。更に、地域社会にあっては、施設の役割を認識し積極的に交流しました。

1) 職員の役割

＊基本理念

① 基本的人権の尊重

② 職務及び利用者に関する守秘義務を果たす。

2) 保健衛生

職員は健康管理には十分留意した生活を行いました。

また年1回検診(下記(1)・(2))を行いました。

(1) 内科検診・X線間接・体重・血圧測定・検尿・視力検査・聴力検査

(2) 35歳以上の職員については、(1)の検査に加えて次の検査も行いました。

① 血液検査 ② 心電図 ③ 胃検査

(3) 月1回検便(腸内細菌検査)を実施しました。

亀の子工房(豆腐工房・給食工房の利用者及び職員)

遊亀館(配食サービスの従業員・魚の屋委託業務の利用者及び職員)

たから保育園職員

かめっ子クラブ職員(おやつ製造担当職員)

3) 勤務

全職員が「就業規則」及び「労働基準法」を遵守して勤務しました。

(7) 非常災害対策

「亀の子消防計画」、「自衛消防組織」及び「緊急連絡網」の周知、徹底を全職員に図ります。また、災害の防止及び備えについて知識の普及と平常の訓練の充実を図りました。

1) 予防と知識の普及

各室に火気取り締まり責任者をおき、点検を行うとともに、月1回の自主点検及び年1回の職員と利用者に消火器取り扱い訓練を行いました。

2) 避難訓練

①内容：総合訓練や避難訓練を行い、迅速な避難誘導の習慣化を図りました。

②開催日：(火災総合訓練) 9月10日(大田市消防本部職員立会)

3月10日

(防災・消火避難訓練) 毎月(たから保育園)

(夜間避難訓練) 3月24日(タートルホーム)

(水害避難訓練) 5月14日

3) 事故防止

メンバーの安全を第一に考え、施設内において事故が起きそうな場所は、速やかに改善を行いました。

6. 社会貢献活動

社会貢献活動として、地域の活動に参加または、実施を行いました。

内 容	実施事業所	実施日 又は回数	人数
大田市海岸(鳥井海岸)清掃活動	法人全体	R1.7.7	26
天領さん	法人全体	R1.8.3	26
亀の子祭	法人全体	R1.10.5	全職員・利用者
クリーン活動(町内のゴミ拾い)	ふぁみりーわーく 亀の子工房	R1.5.18	28
久手小学校のふれあい交流会	ふぁみりーわーく	R1.7.22	19
町内ごみ拾い(エコ)活動	のほほん	6回	延べ 31
ぴよんぴよん教室	かめっ子クラブ	4回	延べ 4
めだか教室	かめっ子クラブ	7回	延べ 8